

**モニタリング
データシート**

水面・河川・水路、原野

第4回千葉県国土利用計画地方審議会調査検討部会

平成21年7月24日

水面・河川・水路、原野

規模の目標

(水面・河川・水路)

単位：h a

基準年次 H16	規模の目標 H29
17,800	18,000

(原野)

単位：h a

基準年次 H16	規模の目標 H29
1,400	600

現状と課題

【水面・河川・水路】 水面(湖沼・ダム・ため池)、河川、水路(農業用水路・排水路)の面積は、ほぼ横ばいで推移しており、平成18年現在で約1万7,800haとなっています。水面は、水資源の確保、自然環境の保全、内水面漁場、レクリエーションの場等、多様な機能を有しています。そのうち、印旛沼・手賀沼については、近年の水質は改善傾向ではありますが、依然としてCOD(化学的酸素要求量)等が環境基準を上回っており、さらなる水質の浄化対策を進めていく必要があります。

河川については、台風や大雨による浸水被害対策のため、治水安全度を確保する河川改修等、長年にわたりさまざまな治水対策を進めていますが、都市化の著しい地域の河川においては、都市的土地利用との調整を図り、浸水被害に対する総合的な整備が必要です。また、九十九里平野から房総半島南部に至る地域の河川においては、流下能力が不足する河川が多く、浸水被害を防止するための整備の推進が必要です。整備に当たっては、利水機能、都市における貴重なオープンスペースとしての役割、生物の生息や水質浄化等の環境面の観点も重要です。

水路は、県境を除き大きな河川がない本県では、農用地の生産性の維持・向上を図るために必要不可欠な施設であり、生態系の保全、親水・防災等の多様な機能も有しています。しかしながら、近年、老朽化により更新時期を迎えた施設が増加しています。

【原野】原野の面積は、平成18年現在で約600haとなっており、平成12年の約1,400haに比べて減少しています。

施策の方向性

【水面・河川・水路】 水面については、計画的・総合的に多様な主体が連携して水質の浄化、健全な水循環の回復を図っていきます。河川については、県土の保全、県民の生命・財産の安全のため、河川の多様な機能・役割へも配慮しながら、県民が安全で安心に暮らしていけるよう必要な整備を図っていきます。水路については、環境との調和に配慮しながら効率的に水路の維持管理・更新を図っていきます。

【原野】原野には、貴重な自然環境を形成しているものもあり、地域の実情に即して、保全・利用について促進していきます。

面積の根拠

算出方法

水面・河川・水路 = 水面(天然湖沼・ダム・ため池) + 河川(一級・二級・準用)
+ 水路

原野 = 森林以外の草生地 - 採草放牧地

出典

水面

・天然湖沼(100ha以上) : 全国都道府県市町村別面積調べ(国土地理院)
(100ha未満) : 自然環境保全基礎調査 湖沼調査報告書(環境省)

・ダム : ダム年鑑

・ため池 : 耕地課調べ

河川

: 河川環境課調べ

水路

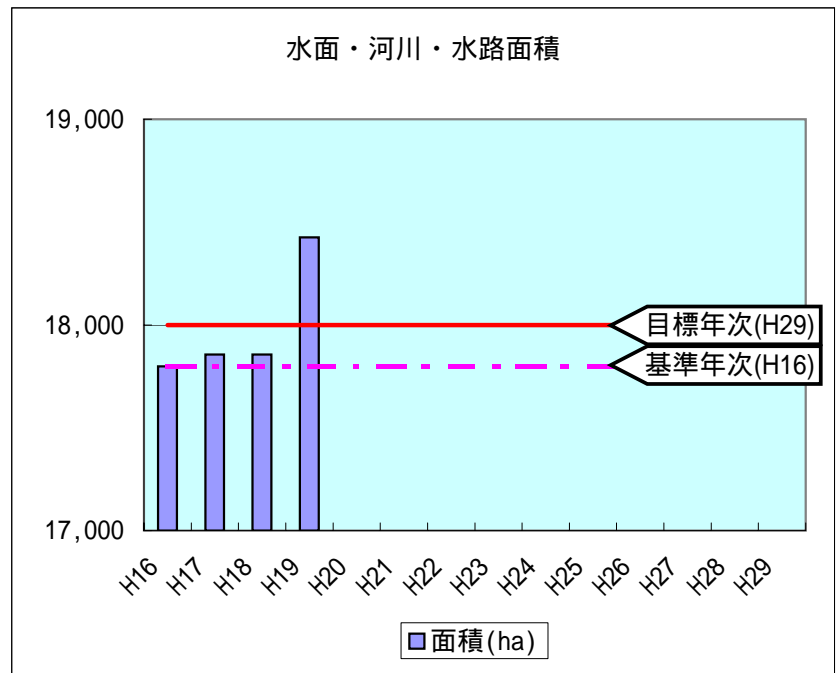
: 耕地課調べ

原野

: 農林業センサス【農山村地域調査】(農林水産省)

面積の推移(水面・河川・水路)

	面積(ha)
H16	17,798
H17	17,856
H18	17,856
H19	18,425
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



データの集計方法

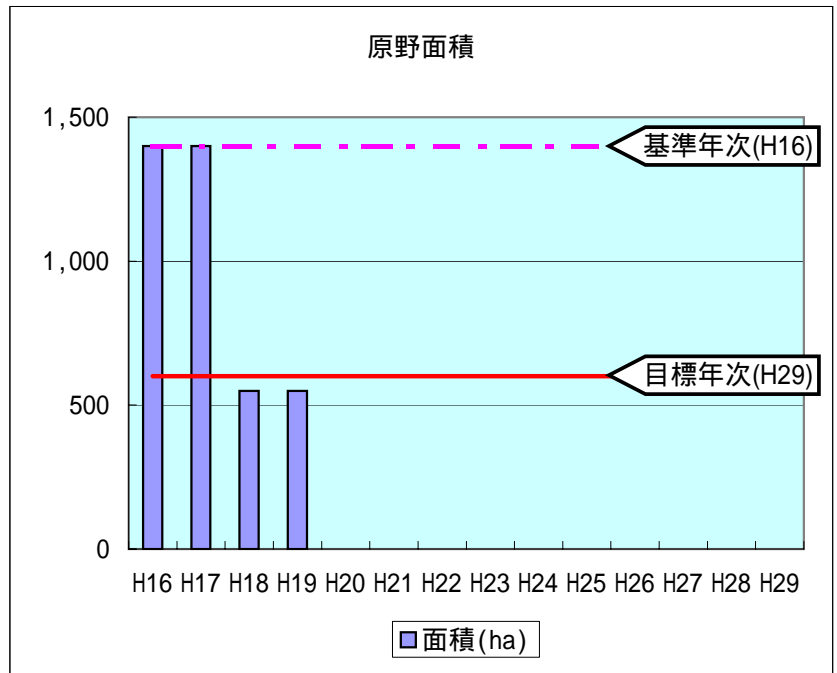
調査年までの累計

データ推移の目標方向



面積の推移（原野）

	面積 (ha)
H16	1,400
H17	1,400
H18	549
H19	549
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



データの集計方法

調査年までの累計

データ推移の目標方向



水面・河川・水路、原野の状況

平成22年度	
平成24年度	
平成26年度	
平成28年度	

モニタリング総括表（水面・河川・水路、原野）

施策の方向性	取組	モニタリング指標	指標の出典	統計頻度	データシート	データ目標	モニタリング結果			
							22年度	24年度	26年度	28年度
(水面)										
水質の浄化、健全な水循環の回復	・「湖沼水質保全計画」に基づく各種対策の推進	・印旛沼、手賀沼の水質(COD年平均値)	水質保全課調べ	毎年	1	↘				
(河川)										
安全で安心して暮らせる必要な整備の推進	・大雨等による浸水に対する安全性の向上	・河川整備率	河川整備課調べ	毎年	2	↗				
		・土砂災害警戒区域の指定件数	河川環境課調べ	毎年	3	↗				
	・水資源の確保	・利根川水系水資源開発施設の整備事業進捗率	水政課調べ	毎年	4	↗				
	・水質の改善	・水質環境基準達成率(河川)	水質保全課調べ	毎年	5	↗				
(水路)										
効率的な水路の維持・管理更新の実施	・計画的な修繕・施設更新	・農業水利施設の維持保全整備箇所数	耕地課調べ	毎年	6	↗				
(原野)										
地域の実情に即した、保全・利用の促進	・貴重な自然環境を形成している原野の保全	・原野面積	(規模の目標)							

『データ目標』は、各指標の数値が矢印の方向へ増加又は減少していれば、良好な状態に推移していると考えられるので、その目安として表示しています。

『モニタリング結果』は、直近のデータと比較したときの指標数値の変化を表示しています。